

4.3 対外的発表

4.3.1 論文等

(1) 1.2 関係

発表者	題名	発表先、主催、発表場所	発表年月日
東京大学地震研究所（平田 直）	大都市圏地殻構造調査・房総半島縦断地殻構造探査について	千葉日報，朝日新聞他数紙（図 66，67 参照）	平成 14 年 10 月 4 日
東京大学地震研究所（平田 直）	大都市圏地殻構造調査・房総半島縦断地殻構造探査について	NHK 総合 首都圏ニュース	平成 14 年 10 月 5 日
佐藤 比呂志	大都市圏地殻構造調査研究における活断層-震源断層システムのイメージング	2002 年活断層成果および堆積平野地下構造調査成果報告会，文部科学省主催，東京、こまばエミナースホール	平成 14 年 11 月 18 日
Hirata, N., Sato, H., Koketsu, K., Umeda, Y., Iwata, T., Kasahara, K. and Okaya, D.,	Regional characterization of Metropolitan areas in Japan for strong ground motion evaluation	AGU Fall meeting, 2002, Sanfransico, USA, American Geophysical Union	平成 14 年 12 月 9 日
Sato, H., Hirata, N., Ito, T., Iwasaki, T., Ito, K., Kasahara, K., Koketsu, K. and Okaya, D.,	Deep Seismic Profiling of Metropolitan Areas in Japan for strong ground motion evaluation	The 10th International Symposium on Deep Seismic Profiling of the Continents and their margins, in Taupo, NewZealand	平成 15 年 1 月 10 日
佐藤比呂志・平田直・伊藤谷生・岩崎貴哉・瀧澤一起・笠原敬司・伊藤潔・Okaya, D., Harder, S., Miller, K., 井川 猛・太田陽一	大都市圏地殻構造調査・房総半島縦断地殻構造探査について	地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会、幕張 千葉	平成 15 年 5 月 27 日
平田直・佐藤比呂志・瀧澤一起・梅田康弘・岩田知孝・笠原敬司	大都市圏地殻構造調査計画	地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会、幕張 千葉	平成 15 年 5 月 28 日

(2) 1.3.1 関係

佐藤 比呂志	大都市圏地殻構造調査研究における活断層-震源断層シス	2002 年活断層成果および堆積平野地下構造調査成果報告会，文部	平成 14 年 11 月 18 日
--------	----------------------------	----------------------------------	-------------------

	テムのイメージング	科学省主催，東京、こまばエミナースホール	
Sato,H., Hirata, N., Ito, T., Iwasaki, T., Ito, K., Kasahara, K., Koketsu, K. and Okaya, D.	Deep Seismic Profiling of Metropolitan Areas in Japan for strong ground motion	The 10th International Symposium on Deep Seismic Profiling of the Continents and their margins, in Taupo, NewZealand	平成 15 年 1 月 10 日
東京大学地震研究所	大都市圏地殻構造調査・相模測線について	日本経済新聞など，朝刊数紙	平成 15 年 1 月 31 日
佐藤 比呂志	サイエンスZERO “すすむ大都市地下探査 地震研究最前線”	NHK 教育 TV 全国放送	平成 15 年 4 月 3 0 日
佐藤比呂志・平田直・伊藤谷生・岩崎貴哉・瀬織一起・笠原敬司・伊藤潔・井川 猛・大西正純・阿部進	大都市圏地殻構造調査・相模測線について	地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会、幕張 千葉	2003 年 5 月 26 日～ 5 月 29 日
平田直・佐藤比呂志・瀬織一起・梅田康弘・岩田知孝・笠原敬司	大都市圏地殻構造調査計画	地球惑星科学関連学会 2003 年合同大会、幕張 千葉	2003 年 5 月 26 日～ 5 月 29 日

(3) 1.4 関係

Toshihiro Igarashi	Spatio-temporal distribution of repeating earthquakes in the Kanto District, Japan	American Geophysical Union Fall Meeting, American Geophysical Union, San Francisco	2002.12.6
--------------------	--	--	-----------

(4) 2.2 関係

笠原敬司	鴨川井の掘削	「大都市圏地殻構造調査研究」第一回成果報告会－ 大大特Ⅰ「地震動（強い揺れ）の予測」－東京大学地震研究所	平成 15 年 4 月 8 日
------	--------	--	-----------------

(5) 2.3 関係

木村尚紀・関根秀太郎・松原誠	反射法構造探査およびトモグラフィーによる関東地方のプレート構造と相似地震活動	「大都市圏地殻構造調査研究」第一回成果報告会－ 大大特Ⅰ「地震動（強い揺れ）の予測」－東京大学地震研究所	平成 15 年 4 月 8 日
----------------	--	--	-----------------

(6) 2.4 関係

高橋雅紀 柳沢幸夫	関東地域の地質構造-新第三紀層位学の立場から-	関東周辺地域の地殻構造と強振動予測(大都市圏地殻構造調査研究計画検討シンポジウム)	平成 14 年 5 月 13-14 日
柳沢幸夫	大規模ボーリングの地質年代調査と首都圏堆積層の構造	大都市圏地殻構造調査研究」第一回成果報告会ー 大大特Ⅰ「地震動(強い揺れ)の予測」ー東京大学地震研究所	平成 15 年 4 月 8 日

(7) 3.2.1 関係

Miyauchi, T., Tanaka, T., Ito, T., Sato, H., Kawamura, T., Ishiyama, T. Kato, H. and Ikawa, T.	ACTIVE TECTONICS OF THE KANNAWA-KOUZU-MATSUDA FAULT SYSTEM DEVELOED AS A THRUST-FRONT MIGRATION PROCESS PRODUIING GEMORPHIC RELIEF IN THE NORTHERNMOST BORDER OF THE PHILIPPINE SEA PLATE, CENTARAL JAPAN, ANALYZED BY SEISMIC REFLECTION PROFILING	第 10 回「大陸と縁辺部の深部地震探査に関する国際シンポジウム」, ニュージーランド	2003 年 1 月 10 日
---	---	---	-----------------

(8) 3.2.2 関係

高田圭太・中田高・宮城豊彦・原口強・西谷義数	沖積調査のための小型ジオスライサー (Handy Geoslicer) の開発	地質ニュース, 579, 12-18.	平成 14 年 11 月
島崎邦彦	内陸活断層モデル化の研究 / トレンチ調査等によるモデル化	「大都市圏地殻構造調査研究」第一回成果報告会, 主催: 大都市圏地殻構造調査研究運営委員会, 場所: 東京大学地震研究所	平成 15 年 4 月 8 日

(9) 3.3.1.1 関係

M. Kikuchi, M. Nakamura, and K. Yoshikawa	Source Rupture Processes of the 1944 Tonankai Earthquake and the 1945 Mikawa Earthquake derived from Low-gain Seismograms	Earth Planets Space	2003
菊地正幸ほか	地震研究所の煤書き地震計記録の整理と利用環境の整備	日本地震学会講演予稿集 2002 秋季大会	2002
室谷智子, 菊地正幸, 山中	1938 年 11 月 5 日の複数の福島県東方沖地震の比較研究	日本地震学会講演予稿集 2002 秋季大会, P126, 2002.	2002

佳子			
山中佳子, 菊地正幸	アスペリティマップ-北海道編(その1) -,	日本地震学会講演予稿集 2002 秋季大会	2002
M. Kikuchi, M. Nakamura, and K. Yoshikawa	Interplate coupling in the Kanto district, central Japan, and the Boso Peninsula silent earthquake in May 1996	PAGEOPH	投稿中

(10)3.3.1.2 関係

Sagiya, T.	Interplate coupling in the Kanto district, central Japan, and the Boso Peninsula silent earthquake in May 1996	PAGEOPH	投稿中
鷲谷 威	南関東地域の地殻変動とプレート間固着・非地震性すべり	「大都市圏地殻構造調査研究」第1回成果報告会, 東京大学地震研究所	平成 15 年 4 月 8 日

(11)3.3.2.1 関係

都司嘉宣	元禄関東地震(1703)による江戸市中の被害・震度の詳細分布	歴史地震, 第 18 号	2002 年
神田克久・武村雅之・宇佐美龍夫	震度データを用いた震源断層からのエネルギー放出分布のインバージョン解析	地震 2	印刷中
境有紀・神野達夫・瀧澤一 起	建物被害と人体感覚を考慮した震度算定方法の提案	第 11 回日本地震工学シンポジウム 論文集	平成 14 年 11 月 20-22 日
神田克久・武村雅之・宇佐美龍夫	波形合成結果を用いた震度データによる震源特性のインバージョン解析法の検証	日本地震学会 2002 年秋季大会	2002 年 11 月 11 日
武村雅之・神田克久	強震動予測に向けたフィリピン海プレートの潜り込みに伴う巨大地震のアスペリティ評価と歴史地震研究の重要性	京都大学防災研究所研究集会	2003 年 2 月

(12)3.3.2.2 関係

神田克久, 武村雅之, 宇佐美龍夫	震度データを用いた震源断層からのエネルギー放出分布のインバージョン解析	地震 2, 56	2003
武村雅之, 神田克久, 宇佐美龍夫	震度分布データから推定される歴史地震の震源過程: 東海・南海地震を例に	歴史地震研究会	2002 年 9 月
神田克久, 武村雅之, 宇佐美龍夫	波形合成結果を用いた震度データによる震源特性のインバージョン解析法の検証	日本地震学会講演予稿集, 2002 年秋季大会	26, 2002 年 11 月 11 日
神田克久, 武村雅之, 宇佐美龍夫	震度データを用いた東海・南海地震の震源特性の推定	第 11 回地震工学シンポジウム, 28, 139-144	2002 年 11 月 20 日
武村雅之, 神田克久	強震動予測に向けたフィリピン海プレートの潜り込みに伴う巨大地震のアスペリティ評価と歴史地震研究の重要性	京都大学研究集会	2003 年 2 月

(13)3.3.2.3 関係

境有紀, 神野達夫, 纈纈一起	建物被害と人体感覚を考慮した震度算定方法の提案	第 11 回日本地震工学シンポジウム論文集	平成 14 年 11 月 20-22 日
境有紀	建物被害と人体感覚を考慮した震度算定方法の提案	第 11 回日本地震工学シンポジウム	平成 14 年 11 月 20 日

(14)3.4.1 関係

Aochi, H.	The role of fault geometry in numerical simulation of earthquake rupture	Bull. ERI, submitted	2003
安藤亮輔・山下輝夫	断層間の動力学的相互作用と断層形状の形成	地震 2, 印刷中	2003
久田嘉章	k-2 モデルによる強震動評価	月刊地球 / 号外, No.37, pp.179-186	2002
Ide, S.	Estimation of radiated energy of finite-source earthquake models	Bull. Seismol. Soc. Am.,	2002
Ide, S.	On fracture surface energy of natural earthquakes from viewpoint of seismic observations	Bull. ERI, submitted	2003

Ide, S., G. C. Beroza, S. G. Prejean, and W. L. Ellsworth	Apparent break in earthquake scaling due to path and site effects on deep borehole recordings	J. Geophys. Res, in press	2003
Ando, R., and T. Yamashita	Dynamic formation of fault system due to interactions between fault segments	AGU Fall Meeting, AGU, San Francisco, USA	2002/12/06 -12/10
久田嘉章, J. Bielak	断層食違い変位による永久変形を考慮した震源近傍における効率的な強震動計算法	第 11 回日本地震工学シンポジウム	平成 15 年 2 月 7 日
久田嘉章, 翠川三郎, 山中浩明, 鱒沢 曜	免震病院を対象とした入力地震動の策定例 - 震源近傍の強震動, 及び深部地下構造を考慮した入力地震動策定	第 30 回地盤震動シンポジウム, 日本建築学会	平成 14 年 10 月 1 日
Horikawa, H., K. Satake, Y. Ishikawa, and Y. Umeda	Source characteristics of the 1936 Kawachi-Yamato, near Osaka, earthquake (M=6.4)	AGU Fall Meeting, AGU, San Francisco, USA	2002/12/06 -12/10
Ide, S	Dynamic Processes Analyzed by Seismic Waveforms	5 th Japanese-American Frontier of Science Meeting, Irvine, USA	2002/12/06
加瀬祐子, 石山達也, 堀川晴央, 関口春子, 佐竹健治, 杉山雄一	数値シミュレーションに基づく生駒断層系の破壊シナリオ	日本地震学会 2002 年秋季大会, 日本地震学会, 横浜	2002/11/12

(15)3.4.2 関係

宮武隆	An Approximate Expression of Slip Velocity Time Function for Simulation of Near-field Strong Ground Motion	American Geophysical Union, Fall Meeting, San Francisco	Dec., 9, 2002,
宮武隆	強震動シミュレーションのためのすべり速度時間関数の近似式 (3)	日本地震学会、横浜市	2002 年 11 月 12 日

(16)3.4.3 関係

青地秀雄	The role of fault geometry in numerical simulation of earthquake	地震研彙報	平成 14 年 12 月投稿
------	--	-------	----------------

	rupture		
井出哲	On fracture surface energy of natural earthquakes from viewpoint of seismic observations	地震研彙報	平成 14 年 1 月投稿
青地秀雄	地震の動的シミュレーション: 非平面構造、動的破壊伝播、強震動	東京大学地震研究所第 802 回談話会、東京	平成 15 年 1 月 24 日
青地秀雄	北アナトリアン断層における非平面断層構造を考慮した地震の動的シミュレーション: イズミット地震からマルマラ海へ	海洋技術研究所深海研究部セミナー、横須賀	平成 15 年 2 月 4 日
青地秀雄	1999 年イズミット (トルコ) 地震: 非平面断層構造、動的破壊過程、強震動	大大特: 動的断層モデルと強震動セミナー、箱根	平成 15 年 2 月 6 日
井出哲	地震のエネルギーと動的破壊過程	大大特: 動的断層モデルと強震動セミナー、箱根	平成 15 年 2 月 5 日
井出哲	地震のエネルギーの空間分布とスケールリング	研究集会「地震の始まり方と終わり方」京都	平成 15 年 2 月 24 日
井出哲	On Scaling and Spatial Variation of Energies of Earthquakes	California Institute of Technology, Seismological Laboratory Seminar	平成 15 年 3 月 7 日

(17)3.5.1.1 関係

枇谷亜紀 山中浩明	ニューラルネットワークによる強震記録の初動自動検出に関する研究	2003 年地球惑星科学合同大会	平成 15 年 5 月
山田伸之 山中浩明	1984 年長野県西部地震のやや長周期地震動のシミュレーション～その 2～	2003 年地球惑星関連科学合同大会	平成 15 年 5 月
東 貞成 佐藤浩章	千葉県北西部における 3 次元地震動シミュレーション	2003 年地球惑星関連学会合同大会	平成 15 年 5 月
早川崇	関東平野西部における堆積層の上下方向の不均質特性と人工地震波伝播	日本地震学会 2002 年秋季大会	平成 14 年 11 月 13 日

(18)3.5.1.2 関係

早川崇	関東平野西部における堆積層の上下方向の不均質特性と人工地震波伝播	日本地震学会 2002 年秋季大会	平成 14 年 11 月 13 日
-----	----------------------------------	-------------------	-------------------

(19)3.5.1.3 関係

東 貞成 佐藤浩章	千葉県北西部における 3 次元地震 動シミュレーション	2003 年地球惑星関連学会合同大会	平成 15 年 5 月
--------------	--------------------------------	--------------------	----------------

(20)3.5.1.4 関係

古村孝志	地震研究最前線	N H K 教育テレビ「サイエンス ZERO」	平成 15 年 4 月 30 日
------	---------	-------------------------	------------------

(21)3.5.2.1 関係

翠川三郎	表層地盤と地震動	地震ジャーナル、第 34 号、pp.12-21	2002 年 12 月
Saburoh Midorikawa	Importance of damage data from destructive earthquakes for seismic microzoning	Annals of Geophysics, Vol.45, No.6	December, 2002
野上雄太 翠 川三郎	1923 年関東地震における神奈川県南 東部での木造家屋の詳細被害分布と その要因分析	第 27 回地震工学・応用地学に関する シンポジウム、主催：早大・慶大・東 工大、場所：早大	平成 15 年 3 月 20 日

(22)3.5.3.1 関係

松波・大見	近畿における大都市圏強震動波形ネ ットワーク	日本自然災害学会、宮崎大学	2002 年 9 月
-------	---------------------------	---------------	------------

(23)3.6.3 関係

ITO , K. , T. UENO , K. YOSHII and H. WADA	: CRUSTAL STRUCTURE AND SEISMOGENIC LAYER IN SOUTHWEST JAPAN	10th International Symposium on Deep Seismic Profiling of the Continents and their margins, Taupo, New Zealand	January 2003
赤松純平・ 駒澤正夫	京都盆地の地盤震動特性と重力基盤	京都大学防災研究所年次講演発表 会	2003.2.21

(24)3.7.1 関係

Tabei, T., M. Hashimoto, S. Miyazaki, K. Hirahara, F. Kimata, T. Matsushima, T. Tanaka, Y. Eguchi,	Subsurface structure and faulting of the Median Tectonic Line, southwest Japan inferred from GPS velocity field	Earth, Planets and Space, Vol.54, No.11, p1065-1070.	2002 年 11 月
--	---	--	-------------

T. Takaya, Y. Hosoi, F. Ohya, and T. Kato			
田部井隆雄	西南日本横断地殻変動プロファイリング	月刊地球, Vol.25, No.1, p19-23.	2003 年 1 月
Tabei, T., Y. Ohta, M. Hashimoto, and S. Miyazaki	Three-dimensional Crustal Velocity Field of the Nankai Forearc, Southwest Japan: Oblique Subduction and Forearc Slip	American Geophysical Union 2003 Fall Meeting, Moscone Convention Center, San Francisco, USA	2002 年 12 月 8 日
Sato, K., M. Hashimoto, F. Ohya, and Y. Hosoi	Time-varying deformation observed by a GPS traverse campaign across the Yamasaki fault, SW Japan	American Geophysical Union 2003 Fall Meeting, Moscone Convention Center, San Francisco, USA	2002 年 12 月 8 日
田部井隆雄	西南日本横断地殻変動プロファイリング	平成 14 年度京都大学防災研究所研究集会 「地殻変動,地球ダイナミクスの研究とモデル計算の最近の成果, 今後の課題」	2002 年 12 月 20 日
金紅林	Inversion of GPS data using spectral decomposition of a Green function	International Symposium on Geodesy in Kanazawa 98 th Meeting of the Geodetic Society of Japan, the Geodetic Society of Japan, Kanazawa, Japan	平成 14 年 10 月 28 日
金紅林	Inversion of GPS data using spectral decomposition of Green function	AGU Fall Meeting, AGU, San Francisco	平成 14 年 12 月 10 日

(25)3.7.2 関係

川崎一朗	サイレント地震 大地震の前に繰り返し起こる	Science and Technology Journal, 11, 14-15.	2002 年 9 月 1 日
川崎一朗	スロー地震とサイレント地震	AREA Mook, 地震がわかる, 64-66.	2002 年 11 月 10 日
川崎一朗	スロー・スリップ・イベントの地学的意義	月刊地球, 25, 75-79.	2003 年 1 月 1 日
川崎一朗	スロー・スリップ・イベントのマッピング	日本測地学会第 98 回講演会 日本測地学会 金沢市観光会館	2002 年 10 月 29 日

川崎一朗	スロー・スリップ・イベントのすべり域と地震アスペリティの住み分け	日本地震学会 2002 年秋季大会 日本地震学会 パシフィコ横浜会議センター	2002 年 11 月 13 日
Kawasaki, I.	Segregation of Source Areas of Slow Slip Events and Asperities of Major Seismic Events on the Subduction Interface Around the Japanese Islands	American Geophysical Union 2002 Fall meeting American Geophysical Union Moscone Center, San Francisco, USA	2002 年 12 月 7 日

(26)3.8.1 関係

Birgoren, G., H. Sekiguchi, and K. Irikura	Broadband Strong Ground Motion Simulation Of The 17 August And 12 November 1999, Turkey Earthquakes	AGU 2002 Fall Meeting, American Geophysical Union, San Francisco, USA.	December 10, 2002
Asano, K., T. Iwata, and K. Irikura	Source Characteristics of Shallow Intralab Earthquakes from Strong Motion Data	AGU 2002 Fall Meeting, American Geophysical Union, San Francisco, USA.	December 10, 2002
Nobuki Kame, James R. Rice and Renata Dmowska	Effects of pre-stress state and rupture velocity on dynamic fault branching	Journal of Geophysical Research -Solid Earth-	Accepted January 18, 2003
Nobuki Kame, James R. Rice and Renata Dmowska	Effects of pre-stress state and rupture velocity on dynamic fault branching	日本地震学会秋期大会、日本地震学会、横浜パシフィコ、日本。	2002 年 11 月 12 日
Nobuki Kame, James R. Rice and Renata Dmowska	Effects of pre-stress state and rupture velocity on dynamic fault branching	AGU 2002 Fall Meeting, American Geophysical Union, San Francisco, USA.	December 10, 2002

(27)3.8.2 関係

泉谷恭男	短周期震源スペクトル強度と地震モーメントの関係	地震学会 2002 年秋季大会	2002.11.12
笹谷 努 森川信之 前田宜浩	1993 年釧路沖地震による強震動記録：震源及び伝播経路特性の評価	第 11 回日本地震工学シンポジウム 論文集，CDROM112 .	平成 14(2002) 年 11 月 20 - 22
笹谷 努	スラブ内地震による強震動予測に関して 1993 年釧路沖地震から学んだこと	地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルに関する研究，第 2 回シンポジウム論文集 113 - 116 .	平成 15(2003) 年 3 月 17—18 日

笹谷 努 森川信之 前田宜浩	1993 年釧路沖地震による強震動記録：震源及び伝播経路特性の評価	第 11 回日本地震工学シンポジウム，東京	平成 14(2002) 年 11 月 22 日
笹谷 努	スラブ内地震による強震動予測に関して 1993 年釧路沖地震から学んだこと	地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルに関する研究，第 2 回シンポジウム，東京	平成 15(2003) 年 3 月 18 日
箕 楽磨	高密度強震観測網データから推定する 2001 年芸予地震の震源断層面と震源過程	日本地震学会秋季大会，日本地震学会，横浜	2002 年 11 月 12 日

(28)3.8.2 関係

川瀬 博	強震記録に基づくサイト増幅特性の評価と地盤構造との対応に関する研究	日本建築学会 2003 年度大会、日本建築学会、中部大学	2003.9.5-7 (投稿中)
川辺秀憲 釜江克宏 入倉孝次郎	特性化震源モデルを用いた南海地震時の強震動予測	日本地震学会秋季大会、日本地震学会、	平成 14 年 11 月 11 日
川辺秀憲	20XX 年の南海地震を考える，3 次元差分法による強震動予測	日本建築学会近畿支部耐震構造研究部会シンポジウム、エル・おおさか	平成 14 年 11 月 15 日
Kamae Kawabe Irikura	Prediction of broad-band strong ground motions from large subduction earthquake using a characterized source model	AGU Fall Meeting、Moscone Center (San Francisco)	平成 14 年 12 月 7 日